

平成31(令和元)年度事業報告

社会福祉法人 シルヴァーウィング

特別養護老人ホーム みさよほうす土支田

短期入所生活介護 みさよほうす土支田

特別養護老人ホーム みさよはうす土支田

1 はじめに

平成 22 年 4 月開設以来、みさよはうす土支田は、11 年目を迎えました。ご利用者様お一人お一人の個性を大切に、小規模施設ならではの、きめ細やかなサービスと笑顔をモットーに取り組んで参りました。地域に開かれた、地域の方に愛されるアットホームな特別養護老人ホームとして順調に推移致しているところです。

平成 31 年度におきましては、施設全体の稼働率は、利用者のニーズに的確に応える努力をしましたが、年間を通じ 98.28% (別表 7) となっています。

令和 2 年度については利用者の皆様に、更なる高品質で付加価値の高い施設の運営を行ない、真っ先に選んで頂ける世界で一番の施設を目指してまいります。

2 事業実績について

特養は定員 30 名に対し、年平均入所者実人員は 29.5 人であった。平成 31 年度の新規入所者は 6 名、退所者は 6 人であった (表 1)。また、平均年齢は、男性 84.4 歳、女性 89.8 歳、全体で 89.3 歳であり、要介護度の平均は、男性 4.3、女性 4.0、全体で 4.0 となっている。入所者の趨勢的高齢化、重度化の傾向が窺われる (別表 1～3)。

《表 1》 特養退所者の状況 4

| No. | 性別 | 年齢 (退所時) | 退所月日 | 退所後の居所 |
|-----|----|----------|------------------|---------------|
| 1 | 女 | 92 歳 | 平成 31 年 4 月 13 日 | 死去 (施設にて<老衰>) |
| 2 | 女 | 99 歳 | 令和 元年 7 月 3 日 | 死去 (施設にて<老衰>) |
| 3 | 女 | 88 歳 | 令和 元年 12 月 10 日 | 死去 (施設にて<老衰>) |
| 4 | 女 | 88 歳 | 令和 2 年 1 月 8 日 | 医療機関 (入院) |
| 5 | 女 | 95 歳 | 令和 2 年 1 月 1 日 | 死去 (施設にて<老衰>) |
| 6 | 女 | 92 歳 | 令和 2 年 2 月 3 日 | 死去 (施設にて<老衰>) |

3 サービス内容について

(1) 食事介助

入所者の食事摂取状況に応じて、食事の見守り、食事介助を行い、誤嚥や嚥下

状態の低下傾向のある入所者については、適切な食形態の検討を行い、経口摂取の維持に努めた。なお、平成31年度末現在、食事介助を必要とする人が6名、食事形態別では、常食7名、一口大1名、きざみ食9名、ごくきざみ食4名、ミキサー食7名、遺漏2人となっている。

また、体調等を考慮し、居室配膳や居室での喫食を実施した。

(2) 入浴介助

入所者の身体状態に合わせ、平成31年度末現在、特浴(11名)、チェア浴(13名)、一般浴(6名)の3機種の中からより安全な入浴方法を選び、週3回(月・水・金)の入浴を実施した。ちなみに、ショート・ステイ(S.S.)の方でも、2名枠で同様に3機種で実施した。

(3) 排泄介助

おむつ交換は、1日6回の定時交換(1時、5時、9時、13時、16時および20時)のほか、随時の個別確認、及びナースコールによる要請により実施した。

(4) 栄養管理

特養入所者については、次の栄養ケアマネジメントを実施した。

- ①毎食後の食事摂取量の記録
- ②月1回の体重測定(新規入所者は入所時)
- ③健康状態の把握
- ④褥瘡の状態の把握(アルブミン値などから体内の栄養状態を把握し、必要なケアを行なう。)
- ⑤食事形態、食事の変更等の記録
- ⑥必要栄養量・水分・たんぱく質量の算定、充足率を把握

(5) 健康管理

嘱託医による週1回の内科往診および月2回の精神科の往診があり、通院治療が必要な場合は、家族の協力等により受診し、入所者1人ひとりが、心身共に健康で充実した日常生活を送れるよう健康管理を行った。

今期も、9月に健康診断を実施。10月から11月にかけて、家族の承諾によりインフルエンザ予防接種を実施。生活の場における保湿、室温管理、脱水予防などを徹底した。一方、職員のうち、手洗い、マスクの着用を早期に励行し予防を徹底した当施設は、機能強化型在宅療養支援診療所と提携している。(これは、訪問診療に従事する常勤医師が複数名おり、厚生労働省で決められた厳しい実績を有し、1年365日24時間、連絡がつく体制のクリニックのことを言う。)

(6) 機能訓練

①常勤の機能訓練指導員を中心に、看護師、介護職、理学療法士(非常勤)等が連携し、身体、嚥下、言語等の機能面においてより充実したリハビリを実施した。

特に、理学療法士(非常勤)は、個別機能訓練計画書に基づき、現在の身体の様

子を確認しながらリハビリを行い、計画の変更があれば、介護職にもポイントを指導した。併せて、車イスやベッドでのポジショニングについても、指導した。また、言語聴覚士は、今年度は不在であったため、個別に話す、聞く、食べることについては、上職の連携によって指導され、集団での口腔体操により誤嚥予防のリハビリを実施した。

②提携外部の歯科医師による口腔ケアを週1回実施した。尚、歯科に関しては、必要時にご家族了解のもと、治療も実施した。

(7) レクリエーション

毎月1回、誕生会は、2～3ヶ月に1回、その他、歌唱（童謡・文部科学省唱歌）・

カラオケ（懐メロ等）、公園への散歩、お化粧、お茶会、みさよカフェ、ボーリング、風船バレー、棒・タオル体操、ぬり絵、折り紙、各種ゲーム、映画鑑賞など、

入浴日を除く毎日、職員が中心となり、実施した。

《表2》

年間行事・・・こども食堂、そろばん教室、英会話教室は毎月1回開催。

| | 行事内容 |
|-----|---|
| 4月 | さくら見ドライブ（その後、緊急事態宣言も出され中止に。前月は1回実施。） |
| 5月 | ギター演奏会等（ギターリスト野村さん出演） (ボランティアによるレクリエーション) |
| 6月 | 紫陽花祭り（紫陽花の折り紙、塗り絵等をスタッフと一緒に行う。） |
| 7月 | 七夕祭り開催（20名参加） |
| 8月 | 隣の公園にて盆踊り会を開催・鑑賞（15名参加、2F, 3Fのベランダからも鑑賞でき、思わず笑顔でいっぱい。） |
| 9月 | 納涼祭開催される。スイカ割りやノンアルコールビールで、乾杯！（24名参加）誕生日祝いにギターリスト野村さん演奏。 (ボランティアによるレクリエーション) |
| 10月 | 秋祭り（クイズドレミファドンドン開催）で、施設長「ヒトは125歳まで生きれます！」と挨拶。 |
| 11月 | 子ども神輿見学会開催。（18名参加）。ハロウィンでかぼちゃの仮装で楽しめる（21名参加）。 |
| 12月 | 地元のギター演奏家野村さんがボランティア演奏会を再開催！（19名参加）。12月24日 クリスマス会（18名参加）。 (ボランティアによるレクリエーション) |
| 1月 | 職員による獅子舞も、各フロアを回りながら行い、利用者の方々から、喝采を浴びました。一年無病息災を祈って利用者の頭を噛む真似をし笑顔がこぼれました。「ふる～、しばれるね～」の千昌夫さんのモノマネは大好評でした。（22名参加） |

| | |
|----|--|
| 2月 | 節分の豆まき・獅子舞（23名参加）。日本を代表する世界的ギターリスト福田進一さんをお招きし、コンサートを開催。朝日新聞の記事となる等、大盛況。 (ボランティアによるレクリエーション) |
| 3月 | 桜見ドライブ・レクの実施。(7名参加。光が丘公園周辺等)。入居者様からは、満開の桜を觀賞し、「きれいね、来て良かったわ～」という声が聞かれました。その直後、コロナウィルスの影響を受けて、外出自粛・中止と相なりました。 |



●日本が誇る世界的ギターリスト福田進一さんを招いてコンサートを開催！（写真：上・下）



●体操・機能訓練・脳トレ・歌唱・カラオケ等、万能機器 FREEDOM を導入！より充実へ！（写真上）



●前列向かって右端のギターを持っている方が福田進一さんです。



●地元ギターリスト・野村さんによるボランティア演奏会を開催！

4 家族等との連絡調整等

小規模な施設の特性を活かし、来所された際には、個別にご家族に利用者の現況を伝え、情報共有に努めた。また、来所のあまりないご家族には、季節の節目には、連絡を入れ、現況を伝えるようにした。

・ご面会者数 延べ2,107人（1日平均5.75人）

5 各種委員会等

下表の委員会等を定期的を開催し、利用者のケア等について検討した。

《表3》

| 委員会名 | 内 容 |
|-----------------|--|
| ① 栄養委員会 | 利用者の栄養ケアに関すること |
| ② 口腔ケア委員会 | 口腔内の衛生を保ち、誤嚥性肺炎などの呼吸器系の事故・疾病を未然に防ぐことなどについて |
| ③ 感染症対策委員会 | 施設内外の環境衛生、感染症の予防等に関し、ノロウイルス、インフルエンザ、手洗いうがいの励行について。 |
| ④ 褥瘡対策委員会 | 褥瘡の予防、処置等に関し、おむつ交換、体位交換、皮膚の洗浄の必要性について |
| ⑤ 身体拘束廃止委員会 | 利用者の身体拘束に関する基準、説明と同意に関することについて |
| ⑥ 事故防止委員会 | 利用者等にかかる事故の防止に関することについて |
| ⑦ 防災・安全対策委員会 | 防火・災害防止及び災害時の対応等に関すること。 |
| ⑧ リハビリ委員会 | 個別機能訓練等の検討等に関すること |
| ⑨ レクリエーション委員会 | 利用者のレクリエーションの計画・実施等に関すること |
| ⑩ ボランティア活用推進委員会 | ボランティアの活用、登録等に関すること |
| ⑪ 入所判定委員会 | 入所者の選定に関すること |
| ⑫ 職員会議 | 施設全般の運営・管理等に関すること、情報伝達等 |
| ⑬ 安全衛生委員会 | 職員の労働環境、健康管理の確保等 |
| ⑭ 研修委員会 | 全職員の知識・技術の向上等のための研修に関すること |

6 職員研修

集合研修を実施することが困難なシフト制職場であるため、同一内容を伝達研修やDVD研修、また、今回初めて、e-learning研修を活用する等の工夫を行った。

《表4》主たる研修会一覧

| No. | 名称 | 開催月 | 人数 | 備考 |
|-----|-------------------|---------|------|-----------|
| 1 | 光が丘防火管理研究会 | 平成31年4月 | 代表1名 | 光が丘消防署 |
| 2 | 看取りについて | 令和元年5月 | 5名 | 法人研修・勝野理事 |
| 3 | 感染症対策について(1) | 令和元年6月 | 6名 | 法人研修・勝野理事 |
| 4 | 脱水・熱中症予防・水分補給について | 令和元年7月 | 5名 | 法人研修・勝野理事 |

| | | | | |
|----|----------------------------|---------|-----|---------------------|
| 5 | 身体拘束廃止について | 令和元年8月 | 3名 | 法人研修・勝野理事 |
| 6 | 感染症対策について(2) | 令和元年9月 | 5名 | 法人研修・勝野理事 |
| 7 | 事故防止への取り組み | 令和元年10月 | 5名 | 法人研修・勝野理事 |
| 8 | 看取りについて(2) | 令和元年11月 | 4名 | 法人研修・勝野理事 |
| 9 | 褥瘡予防、活動への参加におけるポジショニングを考える | 令和元年12月 | 6名 | 職場内研修 |
| 10 | プライバシーポリシー | 令和元年12月 | 6名 | 法人研修・勝野理事 |
| 11 | 消火器研修(機能と位置確認) | 令和元年12月 | 11名 | 職場内研修 |
| 12 | 感染症対策研修(免疫学的視点に立って) | 令和2年1月 | 6名 | 職場内研修 (講師:清水施設長) |
| 13 | 感染症対策・予防について | 令和2年1月 | 5名 | 法人研修・勝野理事 |
| 14 | 高齢者虐待・身体拘束等の手引き学習会 | 令和2年2月 | 7名 | 職場内研修 |
| 15 | コロナ・インフルエンザウィルス対応 | 令和2年2月 | 5名 | 法人研修・勝野理事 |
| 16 | 感染症対策セミナー(ヒトの免疫防衛システム) | 令和2年3月 | 5名 | 職場内研修 (講師:清水施設長) |

7 ボランティアの受入れ

平成25年度に制定した「ボランティア活用推進要綱」に沿うもので、平成31年度には、日本を代表する世界的ギターリスト福田進一さんをお迎えした。これは、朝日新聞社厚生文化事業団が主催するものに当選したものであった。ミニコンサートとは言え、このことは、朝日新聞の掲載記事にも取り上げられた程の盛況ぶりであった。また、練馬地元のギターリスト野村さんにもボランティアとして、2度もレクリエーションに参加して頂き、入居者様やスタッフまでも喜ばせ、うっとりさせた。

8 実習生の受け入れ

平成25年度に制定した「介護実習生等受け入れ要綱」に沿って、実習生の受け入れを図っている。平成31年度(令和元年度)は、小学校および中学校教諭の教員免許状の取得を希望する学生を、介護等体験の実習生として、5名を受け入れた。

9 職場体験事業希望者の受け入れ(主催:東京都福祉人材センター)

介護業務への就労を希望する者を施設に受け入れ、介護サービスや業務内容の理解を深め、介護職場への定着を図ることを目的とする職場体験事業について、実習生として、現役高校生1名を受け入れた。

10 福祉職場サポート業務希望者の受入れ(主催:東京都福祉人材センター)

主婦や高齢者等が対象で、施設での補助的業務（清掃、洗たく、配膳・下膳等）に関する就業体験を希望する者を、研修生として1名を受け入れた。

11 インターンシップの受け入れ

介護業界、介護機器および福祉政策などに関心があり、自分なりの目的を持って主体的にプログラムに参加し、成長したいと考えている大学等の学生を受け入れている。平成31年度は応募者がいなかった。

12 実績の見られた有効な介護ロボット

介護ロボットの導入によって、介護ロボットに関する研究事業に参加してきたが、実際に有効的な結果を示している介護ロボットは、次に示すものであった。

《表5》

みさよはうす土支田で現在使用されている有効なロボット機器一覧

| 種類 | 会社 | 機種 | 配置数 | 利用数 | 備考 |
|-----------|-------------|---------------|-----|-----|----|
| 機能訓練 | モリトー | POPO | 1 | 1 | |
| 機能訓練 | モフトレ | MOFF | 1 | 1 | |
| 移乗支援 | パナソニック | リショーネ | 1 | 1 | |
| 移乗支援 | パナソニック | リショーネ(旧型) | 1 | 1 | |
| 移乗支援 | ケアフォース | サテライト・サラスステディ | 1 | 1 | |
| コミュニケーション | 富士ソフト | PARLO | 2 | 2 | |
| コミュニケーション | (株)知能システム | PARO | 2 | 2 | |
| 見守り支援 | ノーリツプレジジョン | NEOSCARE(サーバ) | 1 | 1 | |
| 見守り支援 | ノーリツプレジジョン | NEOSCARE(| 32 | 32 | |
| 見守り支援 | パラマウントベッド | 眠り scan | 32 | 32 | |
| 移動支援 | RT ワークス | RT1 | 1 | 1 | |
| 排泄支援 | リパティソリューション | RT2 | 1 | 1 | |
| 排泄支援 | アロマ化成 | キューレット | 2 | 2 | |

13 地域貢献（連携）

(1) 東京子育て応援事業

平成28年9月から、公益財団法人東京都福祉保健財団の助成を受けて、地域に対する社会貢献の一環として、「子ども食堂」を特養施設内で運営をしてきた。平



子ども食堂（1F ホールにて）



子ども英会話教室（2F 食堂ホールにて）



こどもそろばん教室の（1Fホールにて）

成 29 年度は、6 月から「子ども食堂」と併せて、「そろばん教室」を開始し、平成 30・31 年度においても、4 月から平成 31 年・令和 2 年 3 月までの期間、「子ども食堂」と「そろばん教室」は、つぎのように、実施された。尚、平成 31 年 4 月から試験的にボランティアとして、「こども英会話教室」がはじめられ、好評のうちに 1 年間実施できたことは、喜ばしいことであった。次年度も継続が決定された。

- ① 原則として、毎月第二土曜日に開催
- ② 延参加者数は、24 名（6 月大雨、10 月台風直撃、明けて 3 月コロナで中止）

(2) 環境美化活動

地域の美化活動に貢献するために、「みさよはうす土支田おそうじ隊」を結成して、練馬区の環境美化活動団体として登録している。練馬区では、毎年 5 月と 11 月の最終日曜日は、区内一斉清掃事業日（ごみゼロデー）と定めていることから、施設でもこれに合わせて、年 2 回一斉清掃活動を行った。

- ・ 日 時 令和元年 5 月 26 日（日）
令和元年 11 月 24 日（日）
- ・ 場 所 施設周辺

（特養 了）

短期入所生活介護 みさよはうす土支田

1 はじめに

ショートステイは定員2名であるが、特養入所者の入院等による空室利用により、年間利用者数（延べ）は、男性45名、女性44名、合計89名であった（別表5）。

これは、ショートステイが介護支援専門員からの紹介を通して短期入所が決められるというルールから、みさよはうす土支田側からのアプローチ（営業）をかけたことによる新規獲得者数が上昇したことや介護支援専門員とのコミュニケーションをしっかりと取ったことなどが、主因として考え得る。

ショートステイ利用者の平均年齢は、男性81.56歳、女性85.88歳、全体83.72歳だった（別表4）。また、要介護度の平均は、男性3.2、女性3.2、全体3.2であった（別表6）。ショートステイの稼働率については、特養利用者が、疾病により入院した場合、その部屋をショートステイ利用希望者に活用していただくよう居宅介護支援事業所へ積極的に情報提供し、コミュニケーションを図り、空室を作らないよう有効活用を心掛けている。結果、平成31年度は、ショートステイの年間利用率は、102.19%だった（別表5）。営業からの分析として、ロング・ショートでの申込者が例年と比較して格段に増えて空席を埋めるのが非常に難しくなって来ている、との見方もあった。

2 サービスの実施状況

(1) 事前面接調査（三者面談）と情報の共有

短期入所でも、その期間は快適な施設生活を送って頂くようにするため、医療処置の有無、日常生活の介護の方法、ご家族の要望等を事前面接で聞き取り、職員間の情報共有を図り、対応した。

(2) 施設までの送迎

ドア・ツ・ドアの送迎サービスを行った。

(3) その他

①入浴は、（月）（水）（金）の週3回実施。

②ショートステイ利用者のうち、長期間定期的に利用される方については、機能

訓練指導員による個別機能訓練も実施した。

31年度実績 延べ256人

③その他施設内のサービスは特養の利用者と同様とした。

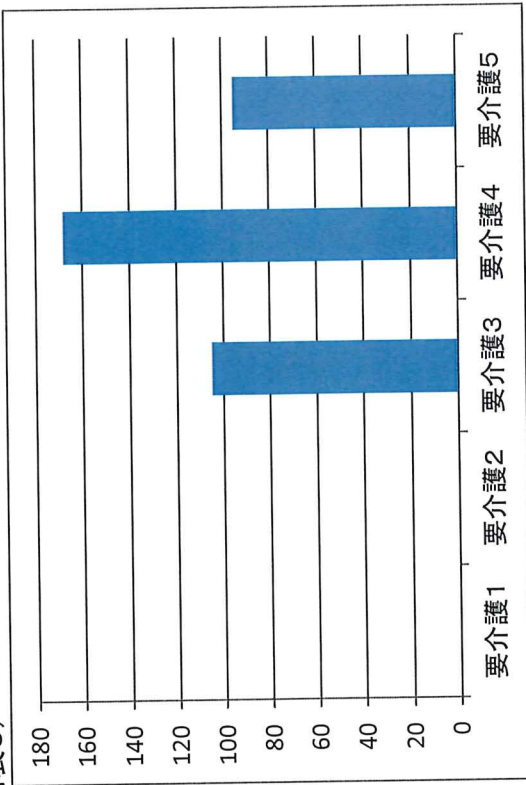
(短期入所 了)

(別表1)

<年度末平均年齢>

| 性別 | 人数 | 平均年齢 | 年齢分布 |
|------|----|------|-------|
| 男 | 3 | 84.0 | 75～90 |
| 女 | 27 | 89.4 | 67～98 |
| (全体) | 30 | 88.9 | 67～98 |

(別表3)



(別表2)

<月別利用者の状況>

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 要介護1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要介護2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要介護3 | 6 | 7 | 8 | 8 | 9 | 9 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 105 |
| 要介護4 | 13 | 15 | 14 | 14 | 13 | 13 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 168 |
| 要介護5 | 10 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7 | 7 | 7 | 8 | 95 |
| 計 | 29 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 29 | 29 | 30 | 30 | 357 |
| 要介護平均 | 4.1 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 3.8 | 4.0 | 4.0 |
| 実人員 | 29 | 30 | 30 | 29 | 30 | 30 | 29 | 30 | 29 | 29 | 29 | 29 | 353 |
| 延べ定員数 | 900 | 930 | 900 | 930 | 930 | 900 | 930 | 900 | 930 | 930 | 870 | 930 | 10,980 |
| 1日平均利用者数 | 30.0 | 29.0 | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 29.0 | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 29.0 | 29.0 | 356 |
| 稼働率 | 94.77% | 98.71% | 100.00% | 97.95% | 100.00% | 99.89% | 97.42% | 99.33% | 97.74% | 95.70% | 97.13% | 96.67% | 97.94% |

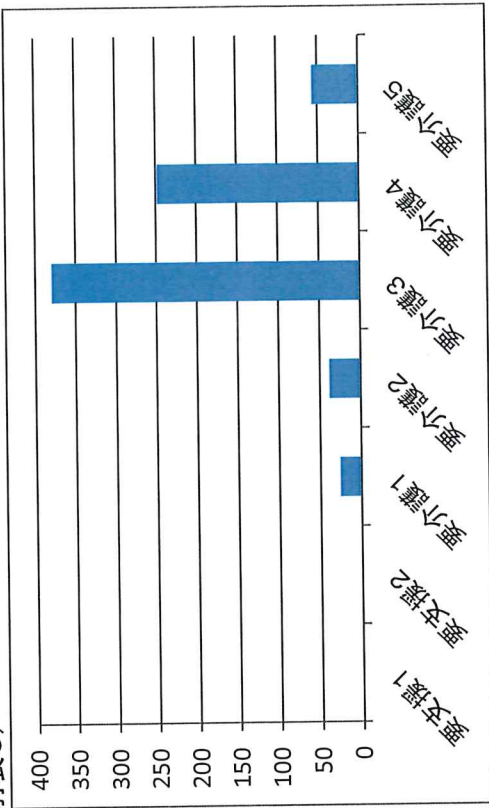
(注)本表では、在籍日数により算出しています。

(別表4)

<年度末平均年齢>

| 性別 | 人数 | 平均年齢 | 年齢分布 |
|------|----|------|-------|
| 男 | 17 | 82.1 | 60～93 |
| 女 | 15 | 85.2 | 71～95 |
| (全体) | 32 | 83.7 | 60～95 |

(別表6)



(別表5)

<月別利用者の状況>

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|---------|---------|---------|
| 要支援1 | | | | | | | | | | | | | |
| 要支援2 | | | | | | | | | | | | | |
| 要介護1 | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 26 |
| 要介護2 | 15 | 7 | | 3 | | | | | 7 | 6 | | | 38 |
| 要介護3 | 41 | 27 | 33 | 34 | 42 | 20 | 17 | 14 | 30 | 43 | 36 | 42 | 379 |
| 要介護4 | 32 | 34 | 28 | 17 | 10 | 41 | 30 | 17 | 6 | 4 | 21 | 8 | 248 |
| 要介護5 | | | | 5 | | | 10 | 8 | 21 | | 3 | 9 | 56 |
| 計 | 92 | 72 | 61 | 62 | 55 | 64 | 60 | 42 | 64 | 53 | 60 | 63 | 748 |
| 要介護平均 | 3.0 | 2.9 | 3.3 | 3.2 | 2.8 | 3.2 | 3.4 | 3.4 | 3.0 | 3.0 | 3.7 | 3.4 | 3.2 |
| 実人員 | 12 | 10 | 9 | 11 | 6 | 6 | 8 | 8 | 8 | 5 | 6 | 8 | 97 |
| 延べ定員数 | 60 | 62 | 60 | 62 | 62 | 60 | 62 | 60 | 62 | 62 | 58 | 62 | 732 |
| 1日平均利用者数 | 3.1 | 2.3 | 2.0 | 2.0 | 1.8 | 2.1 | 1.9 | 1.4 | 2.1 | 1.7 | 2.1 | 2.0 | 2.0 |
| 稼働率 | 153.33% | 116.13% | 101.67% | 100.00% | 88.71% | 106.67% | 96.77% | 70.00% | 103.23% | 85.48% | 103.45% | 101.61% | 102.19% |

平成31年度

(注)本表では、退所日は日数には含んでいません。

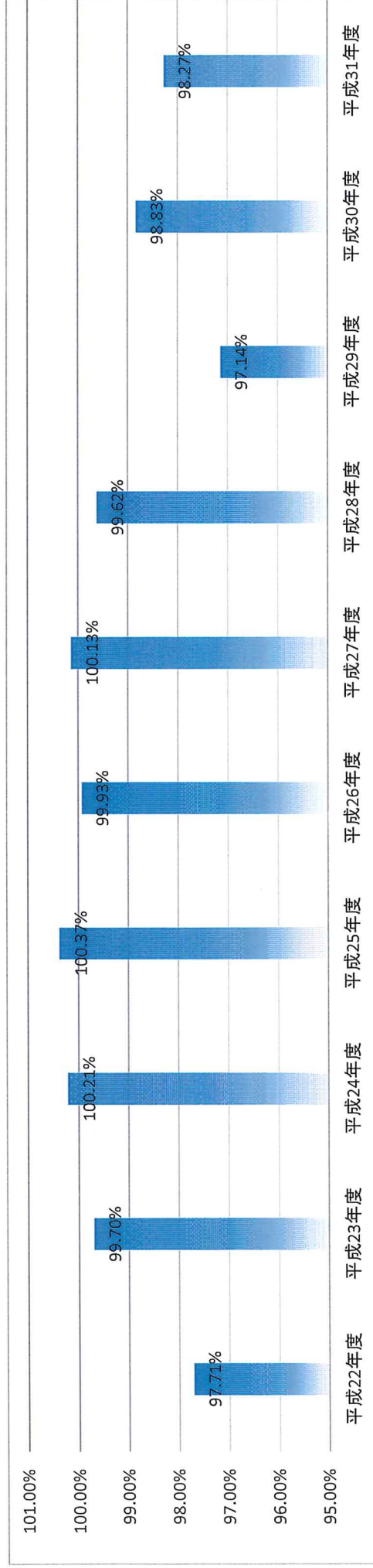
(別表7)

〈月別稼働率〉

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|--------|---------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 特養 | 853 | 918 | 900 | 911 | 930 | 899 | 906 | 894 | 909 | 890 | 845 | 899 | 10754 |
| ショートステイ | 91 | 77 | 61 | 63 | 55 | 67 | 60 | 41 | 64 | 54 | 60 | 63 | 756 |
| 計 | 944 | 995 | 961 | 973 | 985 | 966 | 966 | 935 | 973 | 944 | 905 | 962 | 11509 |
| 延べ定員数 | 960 | 992 | 960 | 992 | 992 | 960 | 992 | 960 | 992 | 992 | 928 | 992 | 11712 |
| 稼働率 | 98.33% | 100.30% | 100.10% | 98.08% | 99.29% | 100.63% | 97.38% | 97.40% | 98.08% | 95.16% | 97.52% | 96.98% | 98.27% |

(注)本表では、実利用日数で算出しています。

(別表8)



| 稼働率 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
|-----|--------|--------|--------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | 97.71% | 99.70% | 100.21% | 100.37% | 99.93% | 100.13% | 97.14% | 98.83% | 98.27% |

平成31年度(令和元年度)